

平成20年度「鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会」会議録

- ◇ 日 時：平成20年8月27日（水）13時30分～14時30分
- ◇ 場 所：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 4階会議室
- ◇ 出席者：下記名簿のとおり

○鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会委員（敬称略）

号	会長等	氏 名	役 職 等	出 欠
1	会 長	中井 慎雄	鎌ヶ谷市医師会代表	出席
		石川 広巳	鎌ヶ谷市医師会代表	出席
		古池 輝久	船橋歯科医師会代表	出席
2	副会長	高地 刀志行	習志野健康福祉センター長	出席
3		小川 喜代子	船橋市栄養士会代表	欠席
		小倉 一哲	鎌ヶ谷市料飲組合連合会会長	出席
		和田 洋子	鎌ヶ谷市食生活改善協議会会長	出席
		菅村 恵子	鎌ヶ谷市保健推進員協議会会長	出席
4		福留 浩子	こども課長	出席
		大野 要	生涯学習部次長学務課長（事）	出席

○市出席者

氏 名	職 名
岩佐 昇	健康増進課長
木暮 光代	健康増進課長補佐
小山 ミサ子	健康増進課予防係長
山崎 典子	健康増進課主査（歯科衛生士）
菅井 智美	健康増進課主査（保健師）

○事務局

氏 名	職 名
鈴木 恵子	健康増進課副主幹(事)健康係長
関 晃太郎	健康増進課主査補

◇ 会議の議題

- (1) 「2008 かまがや福祉健康フェア」への参加について
- (2) 特定健診・特定保健指導について
- (3) セット検診について
- (4) フッ化物洗口普及事業について
- (5) 学童期からの生活習慣病予防事業について

1. 会長挨拶
2. 委員紹介
3. 会議録署名人の選任 事務局一任により「福留委員」、「大野委員」とする。
鎌ヶ谷市健康づくり推進協議会設置要綱第6条の規程により、会長が議長となり議事を処理する。

議題（1）「2008 かまがや福祉健康フェア」への参加について

（議長）議題（1）の「2008 かまがや福祉健康フェア」への参加について、事務局説明願います。

（事務局）今年も実行委員方式で、各種団体の活動を広く市民に紹介し、市民の福祉や健康増進に対する意識向上を図ることを目的に行う。

健康づくり推進協議会参加内容の全体像は「自分を知って楽しく健康づくり」をテーマとする。その他参加団体、内容及び会場について説明

（議長）事務局の説明のとおり、「自分を知って楽しく健康づくり」ということでやっているということですが、ご意見、ご質問はありますか。
ご意見、ご質問はないようなので、皆さんの協力のもと事務局案のとおり実行してよろしいか。

（委員）異議なし

議題（2）特定健診・特定保健指導について

（議長）議題（2）の特定健診・特定保健指導について、事務局説明願います。

（事務局）主旨、目標値の設定、対象者、実施方法、実施期間等について説明

（議長）ただ今の件についてご意見、ご質問はありますか。
ご意見、ご質問はないようなので、次の議題に移ります。

議題（3）セット検診について

（議長）議題（3）のセット検診について、事務局説明願います。

（事務局）検診の実施方法の変更などについて説明

（議長）ただ今の件についてご意見、ご質問等ありますか。

（委員）胃、大腸、胸部のがん検診をセットにすることで、受診率が高まっていることを確認している。

（委員）各種検診の市民通知を2年度間受診がない場合は新たに来庁、又はハガキでの申込が必要となっているが、通知がない方の受診率はどうなっているのか。

(事務局) 過去に、対象者全員に通知していたが、受診率と経費との比較により現在2年度としている。また、各種検診募集内容について、自治会を通じて全戸に配布し、申込期限についても、できる限り延長することで、受診率の向上を図っている。

(委員) 経費節減の意図はわかるが、未受診者の死亡率等を調べて、手遅れにならないように受診率を高め、早期治療により、結果として医療費の削減につながるのでは。そのあたりのバランスが微妙なので質問した。

(委員) 基本健康診査から特定健康診査及び特定健康指導に変わったことについて、市は心電図、貧血検査、前立腺がん検査がないなど、どのように変わったか、もう少し詳しく市民に伝えていただく必要がある。

(事務局) 了解しました。

(議長) 他にご意見、ご質問はありますか。
他にないので、次の議題に移ります。

議題(4) フッ化物洗口普及事業について

(議長) 議題(4)のフッ化物洗口普及事業について、事務局説明願います。

(事務局) 保育園・幼稚園・小学校におけるフッ化物洗口事業について説明

(議長) ただ今の件についてご意見、ご質問はありますか。

(委員) 保育園の保護者の反応は良いが、保育園以外でも啓発を行っているのか。

(事務局) 毎月3歳児健診時などで、フッ化物洗口のやり方や安全性について説明している。

(委員) 近隣市の状況はどうか。

(委員) 規模の大きい市では普及していない。

(委員) 安全性についてはどうか。

(委員) WHO、日本歯科医師会などにおいても安全性については証明されている。

(委員) 千葉県フッ化物洗口モデル事業の実施期間は。

(事務局) モデル事業は単年度ですが、モデル校の北部小学校からは、1年生から6年生を対象に6年間継続して実施したいとの要望がある。

(委員) 現在、数値的効果はどうなのか。

(委員) 38年続けている団体もあり、効果は確認されている。

(委員) 安全に実施するためのチェックは行っているか。

(事務局) チェックは行っている。

(委員) フッ化物洗口は大人にも効果的となっているようなので、大人にも啓発をお願いしたい。

(事務局) 了解しました。

(議長) 他にご意見、ご質問はありますか。
他にないようなので、次の議題に移ります。

議題(5) 学童期からの生活習慣病予防事業について

(議長) 議題(5)の学童期からの生活習慣病予防事業について、事務局説明願います。

(事務局) 当該事業にあたり、食育を計画的に推進するための基盤整備などについて説明

(議長) 人が生きていく上で、切り離すことのできない食育に係るこの事業は、千葉県のモデル事業として、健康増進課が窓口となり、教育委員会と農業振興課で取り組んでいます。この事業についてご意見、ご質問はありますか。

(委員) この事業にご協力いただきありがとうございます。
今後、実態調査などを行っていただき、事業効果について国に報告していきます。

(委員) 子どもの頃から、健康な生活習慣を身につける事は大切な事と認識している。
食育推進は、大人になる上で重要な事業であるため、各学校、給食センター等、関係者の皆さんにご協力いただきたい。

(委員) 10月19日の福祉健康フェアで、人形劇による事業の啓発を行う予定。
食育事業として、5つの中学校で70名の[※]ヘルスサポーターが実践している。
※ ヘルスサポーターとは、自分にあった健康目標を達成するため、健康づくりを実践する人。

(委員) 3年前からメニューに栄養成分の表示や、栄養・食生活の情報を提供したり、ヘルシーオーダーに対応できる飲食店を「健康ちば協力店」として登録し、皆さんが、自ら積極的に健康づくりに取り組めるよう協力している。

(議長) 他にご意見、ご質問はありますか。他に質問、ご意見がなければ、本日の議題はすべて終了しました。
これを持ちまして議事終了とします。

閉 会

◇ 会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成20年10月27日

署名人

福留 浩子

署名人

大野 要